

1. 韓国側の報道

2月14日、『竹島問題 100問 100答』発刊後、複数のメディアが反応

(1) 『文化日報』(2014. 3.6日付)「竹島 100問 100答」、日本、独島支配、巧妙な歪曲
領南大学校独島研分析. 固有の領土の主張とは矛盾

- ① 日本は17世紀前半から独島を支配した歴史的権原があり、1905年、島根県告示で独島編入の再確認。【反論】固有の領土論の主張をしながら告示を通じて編入したことは矛盾。編入は無主地先占論（無主地先占論）として矛盾。
- ② 島アシカ（海驢）は韓国が占領した1970年代に滅種。【反論】1910年、日本の漁民達の深刻な乱獲で既になくなった。
- ③ 1952年、韓国が平和線を宣布し、独島を武力侵奪。【反論】韓国が朝鮮動乱中にも拘らず、日本は漁船を独島附近で水産資源を乱獲し、これを防ぐため平和線を設定。

2. 韓国側（「独島を日本に知らせる連帯」）と日本国内の動き

(1) 2014年2月21日（22日は土曜日の為）

松江地裁に「島根県告示第40号無効確認訴訟」（「独島を日本に知らせる連帯」）

(2) 2013年9月29日、「竹島の日を考え直す会」（理事長久保井規夫）と「独島日本領有権撤回のための共同役割展開の模索」共催（在日大韓国民団大阪支部講堂）

(3) 独島連学術役員兼「竹島の日を考え直す会」会員金文吉釜山外国語大学前教授

- ① 「島根県告示第40号」無効確認訴訟の提起
- ② 日本政府の独島に対する歪曲広報に対応し、独島の歴史を日本で新聞広告
- ③ 韓国特定地域に「独島は韓国の領土」の碑文を両団体名義で建立
- ④ 韓日独島学術セミナー共同開催.
- ⑤ 独島訪問その他、両団体会員の親善企画

(4) 訴訟担当日本人弁護士（遠藤ヒロミチ）、黒田伊彦元大阪樟蔭女子大講師の斡旋
独島連（斐三俊）、金文吉前釜山外大教授

(5) 2014年2月22日、「竹島の日を考え直す会」の集い主催（統一日報2014.3.5付）
尹滌夏代表「韓日不和の根本は『竹島の日』制定にあり、『竹島の日』を考え直すべきだ」。「歴史事実を日本が認めるほか道はない。『竹島の日』がある限り、在日に安住の地はない」。徐龍達桃山学院大学名誉教授「竹島を『固有の領土』と主張する日本側の『固有』は時代によって変質している」と説明。

(6) 2014年4月22日、「竹島の日を考え直す集い」東成区民センター

講演 1 「「竹島の日」と高校教科書検定を批判する」副代表黒田伊彦

講演 2 「地図・資料の証左 竹島=独島は、領土問題ではなく歴史問題である」

副代表・理事長久保井規夫